

### 3/9 遺構から戦時中について学ぶ 内海中学校1年生が由良衛所を見学

愛媛CATV  
動画

内海中学校1年生の6人が、由良半島にある由良衛所を見学しました。由良衛所は正式名称を由良崎防備衛所<sup>ゆらのほな</sup>といい、豊後水道に侵入する潜水艦を探知するために旧日本海軍が設置した軍事施設です。内海村史によると、昭和14年から16年ごろに整備されたと考えられており、第二次世界大戦が終了するまでその役目を果たしていました。

この見学は、内海中学校の地域学習として毎年行われており、町教育委員会生涯学習課の織田浩史<sup>ひろふみ</sup>さんが案内役を務めました。生徒はまず渡船で海から由良半島の先端に上陸し、山道を歩いて、生活用水に利用した貯水池や潜水艦を探知するための聴音室、兵隊が生活していた兵舎などの遺構を訪れました。

織田さんは当時この施設で任務に当たっていた人から聞いた話を交えながら、三交代で24時間絶え間なく聴音作業が行われていたことや、終戦間際に砲台が4カ所設置されていたが実際には使用されなかったことなどを説明すると、生徒は熱心に耳を傾けていました。

参加した生徒は、「聴音室が地下まであったことに驚いた。織田さんが分かりやすく説明してくれたので、由良衛所に興味を持つことができた」と感想を述べました。



▲講師の織田さんから説明を受ける内海中の生徒ら



▲由良衛所を見学した内海中の生徒

## 文化団体活動紹介

【愛南町文化協会の加盟団体などの活動を紹介します。】

### さわらび短歌会

代表：藤井 擴<sup>ひろむ</sup>  
指導者：前田 充<sup>みつる</sup>

愛媛CATV  
動画

- ▶教室日時 第1金曜日  
13:30-15:30
- ▶教室場所 一本松山村開発センター
- ▶問い合わせ先 一本松公民館(電話：84-1252)



▲後列左から 河上さん、前田(知)さん、松本さん、澤近さん  
前列左から 扇野さん、藤井さん、前田(充)さん、水野さん、野崎さん

#### ▶会員

氏名			
前田 充 <sup>みつる</sup>	松本 マス子 <sup>こ</sup>	岩村 千代子 <sup>ちよこ</sup>	河上 明美 <sup>あけみ</sup>
水野 美代子 <sup>みよこ</sup>	藤井 擴 <sup>ひろむ</sup>	澤近 正弘 <sup>まさひろ</sup>	前田 知子 <sup>ともこ</sup>
前田 昭夫 <sup>あきお</sup>	野崎 幸子 <sup>ゆきこ</sup>	扇野 八代生 <sup>やよい</sup>	生田 八寿子 <sup>やすこ</sup>

興味がある方は、一本松公民館にお問い合わせください!!

さわらび短歌会の皆さんです。一本松山村開発センターで月に1回活動しており、広報あいなんに年4回短歌を寄稿しています。会には12人が所属し、活動の日に短歌を1首持ち合い、言いたいことを言い合いながら会を楽しんでいます。

さわらび短歌会は、万葉集に出てくる志貴皇子<sup>しきのみこ</sup>が詠んだ、「石ばしる、垂水<sup>たるみ</sup>の上の、さ蕨<sup>さわらび</sup>の、萌え出づる春になりけるかも」から付けられた名前です。「約65年前から変わらず続く、歴史ある会です」と語る指導者の前田充<sup>みつる</sup>さん。

「歌を詠むことで、近所のことや家族のこと、普段では気付かないことに目を向けることができるようになります」と話す前田さんは、今後について、「俳句を始める人たちが増えているように、自分たちが活動することで短歌を詠む人たちを増やしていきたい」と目標を話しました。

3/7 第15回B&G会長賞ラケットテニス大会 in あいなん

健康づくりやラケットテニス団体の親睦を深めることを目的として、御荘B&G海洋センターで「第15回B&G会長賞ラケットテニス大会inあいなん」が開催され、町内10団体44人(22ペア)が参加しました。大会は、男女混合ダブルスの年齢別A・Bと女子ダブルスの3グループに分かれ、個人戦で競いました。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止されましたが、今年は3密を避け、試合の合間に換気をするなどの感染症対策を行いながら大会を実施しました。

試合は、1ゲーム4点先取の5ゲームマッチで行われ、選手が好プレーを見せたり、サーブで点を入れたりすると会場からは拍手が送られていました。

男女混合ダブルスAで優勝した山鳩クラブの木村六郎さんと草木原登美子さんペアは、「普段の練習通りの調子が出た。ペアになって初めての優勝なのでうれしい」と話しました。



愛媛CATV  
動画



▲好プレーを見せる選手

	優勝	準優勝	第3位
大会結果 男女混合ダブルスA	木村 六郎 (山鳩クラブ)	楠本 富男 (さくら)	武井 繁夫 (浜っ子)
	草木原 登美子 (山鳩クラブ)	本多 克代 (さくら)	松田 富美恵 (浜っ子)
男女混合ダブルスB	荒木 草太 (らさんて)	芝 孝博 (アルル)	草木原 由幸 (山鳩クラブ)
	吉田 彩乃 (らさんて)	石河 五月 (アルル)	本多 千代 (山鳩クラブ)
女子ダブルス	野平 美委子 (御荘クラブ)	尾崎 幸子 (ほのぼのクラブ)	桑原 由久美 (長月とどろき会)
	渡邊 妙子 (御荘クラブ)	松原 郁子 (ほのぼのクラブ)	内山 秀美 (長月とどろき会)

3/28 アーチェリー公式大会  
「令和3年愛南あけぼの大会」



愛媛CATV  
動画

アーチェリー競技を通じて選手同士が親睦を深め、技術向上を図ることを目的として、あけぼのグラウンドで「令和3年愛南あけぼの大会」(愛媛県アーチェリー協会主催)が開催され、町内外の小学5年生から一般まで25人が出場しました。

愛南町では令和元年11月に愛南アーチェリークラブが発足し、旧西海中学校体育館で週に1回練習が行われています。

本町で初めてのアーチェリー公式大会となる今大会には5人の選手が出場し、県内から参加した選手らと交流を深めました。

大会当日は強い雨の影響で、当初の2ラウンド制から1ラウンドのみの実施となり、12メートルから70メートルまでの7種別で各選手が36射ずつ行い、合計得点を競いました。

選手は難しい気象条件の中、対応に苦労しながらも集中して競技に臨み、時折笑顔を見せながら試合を楽しんでいました。愛南アーチェリークラブに所属し、今大会に出場した和田結倫愛さん(福浦小5年)は、「初めての試合で緊張し、大雨でもあったので練習の成果が出せずもっと練習したいと思った。試合は楽しかった」と話しました。



▲大会には子どもから大人までが参加



▲18mの部優勝の大野未来さん(左)と12mの部優勝の和田結倫愛さん

※記事中の児童生徒の学年は取材時(令和2年度)を基準に掲載しています。